



録画を配信

# 不登校児童生徒への自立支援の充実を期待

町長 子どもたちが教育を享受し自立できる環境が大事



横山和浩議員

## 自立への支援

**問** 不登校児童生徒への自立支援はどうか。

**教育長** 学校ではチームでのケース会議で指導方針を決めている。保護者には面談などで困り感をお伺いし、

何があっても何らかの形で児童生徒や保護者と関わる姿勢で取り組んでいる。

学校以外の居場所や相談場所、学びの場については、紹介するリーフレットを作成し、不登校・傾向児童生徒の保護者へ随時配布している。

教室以外の学びの場として、学習塾や保健

室などへの登校、授業のライブ配信などがある。今年度からは、教育支援センターの役割を果たす「あつとぃーす」を開設している。

## 学校内の居場所

**問** 小学校内に、困り感がある子どもたちの居場所を設けてはどうか。

**町長** フリースクールなどに期待したいが、当町人口での経営は困難と思われる。ボランティアで開設していただけならいろいろな制度設計が可能であり、頑張っていたきたい。  
**教育次長** あつとぃーすは小学生も利用可能

希望に沿う支援を心がけている。

## 負担感の軽減

**問** 毎日の電話連絡など負担を感じている保護者もおられる。より負担感の少ない方法で保護者と学校が関われるよう配慮してはどうか。

**町長** 親としての責任を理解し、学校との連携をどう持つかが大事。連携を深め学校との距離を縮めることを考えたい。

## 不登校への理解

**問** 不登校というだけで問題行動であると受け取られないよう配慮することが、教育機会確保法の付帯決議で示されている。町の取り組みはどうか。

**町長** 不登校というよりも、子どもたちが教育を享受し自立できる環境を作るべきと認識している。そのようなまちづくりを進めたい。

## 私もひとこと

一番つらい思いをしているのは子ども。その気持ちに寄り添ってもらいたい。

(町内30代)

**問** さまざまな考え方があると思うが、地域の皆さんの理解が必要と考える。不登校児童生徒の支援者から、不登校は命にも関わる問題だと言われ、危機感を持った。町としての所見はどうか。

**町長** 地域の中で理解を深めながら、その子に合う支援を行えるかが分かれ道と思う。行政で具体的に足りないことがあれば、おっしゃっていたら教えていただければ、我々が動く方法も出てくる。

